

向日が丘 授業研究通信

今年度、武富先生をお迎えしての1学期の研修は「学習評価」を中心に先生方の疑問の解消のきっかけになったのではないのでしょうか。

全校研（5月10日）

武富先生との初回の全校研は残念ながら、Zoomでの開催となりました。「問い」は子ども達自身のものになっているか？「資質・能力を問いで編み込む、絡め取るイメージが重要」、学びの「深まり」の鍵となるものは「見方・考え方」であるなど、私たちに多くの課題を分かりやすく投げかけてくださいました。



神戸親和女子大学 准教授
武富 博文 先生

武富先生と語る会（6月28日）

「語る会」では、授業者からの質問を中心に事前にみなさんから出してもらった「集中時間の差」のような日常的な疑問内容から「手立てや工夫」「三観点を意識した単元目標の立て方」そして「発達の異なる集団での目標と評価」についてまで多岐にわたる質問に対し、具体的なアドバイスをいただきました。そして、すべて動画でお答えいただいていますので、授業に困った時には、何度でも見ていただければと思います。



全校研（7月19日）

7月19日の全校研では先生方には、実践報告を事前視聴していただきました。各授業に対しての指導助言、ここでも具体的なアドバイスをいただきました。

感想の回収率はとても高く「自身の実践に活かせることは？」という質問にはほとんどの先生方にお答えをいただいていた。一部をご紹介します

- ・「見方、考え方」というキーワード
- ・授業の評価について、もっと明確に考える
- ・どういう資質能力を育てたいかの問いが大事
- ・リアルに目的を明示することで主体性を育む
- ・人を受け入れる力、関わる力が社会貢献の土台
- ・教育課程を語る学校文化を目指したい
- ・学部間での情報交換は財産 などなど…



その他にも「2学期以降の実践に活かせる」との、心強い回答がたくさんありました。2学期の実践が楽しみです。

動画のご紹介 武富先生研究会



5月10日 全校研

「問い」や「見方・考え方」をどう考えるか等の課題にわかりやすく投げかけて、説明されています。



6月28日 語る会

先生たちからの様々な質問、疑問や授業作りへの悩みについて具体的にアドバイスを頂いています。授業作りにも見えます。



7月19日 全校研

各学部の授業に対して具体的なアドバイス、2学期以降に活かせるポイント等たくさん頂きました。授業作りへのヒントが盛りだくさんです。

2021年6月29日(火) 中学部 気軽な学習会

特別支援教育の基礎的な知識を、体験的な活動をとおして深めるための「気軽な学習会」を実施しました。今回は、第1回目として、中学部の先生方を対象に希望者を募り、「各教科等を合わせた指導とは」というテーマで行いました。



学習会後半のグループワークでは、実際に生活単元学習の単元計画をたてる活動を行いました。普段関わっている生徒をイメージし、生徒につけてほしい力や期待する姿をイメージしながら、グループで単元計画を共有しました。その中で、普段生活単元学習の授業を行う際の悩みや不安等を話し合う姿もありました。

30分という短い時間設定でしたが、特別支援教育の基礎的な知識を再確認するよい機会となりました。



【気軽な学習会の感想】



なぜ「各教科等を合わせた指導」を行っているのかの基本を思い出すことができた。明日からの授業でも、ポイントを意識しながら実践に取り組んでいきたいと思う。



日々行う授業について、自分が難しいと感じることを、他の人も感じているということを知ることができて良かった。

研究協力者による授業見学・指導助言

～武富先生と授業を語る会～

去る6月28日、本年度の研究協力者である神戸親和女子大学准教授、武富先生に御来校いただき、授業見学と授業についての指導助言をしていただきました。この「授業を語る会」は、日々の授業についての悩みや疑問について、本校教員と一緒に考えていただき、授業改善を進めていくことを目的として行いました。



午前中は各学部の授業を見学いただき、午後は、授業者からの質問に直接助言をいただくとても貴重な機会です。授業見学では、生活単元学習の授業で取り組んでいた夏祭りのお店に、お客様として参加していただく場面もあり、生徒たちにとっても貴重な機会となりました。



「授業を語る会」の前半では、支援のあり方や評価について、授業者から直接質問をさせていただき、授業改善について授業者と一緒に考えていただきました。参加した授業者の悩みはそれぞれ違いますが、授業を良くしたい、児童生徒に力をつけたいという前向きな思いは、若手からベテランまで同じでした。後半は、この「授業を語る会」に参加できなかった教員から出された質問に丁寧に答えていただきました。最後に、日々尽力しながら授業を作っている私たちに温かいメッセージもいただき、授業改善を進めていく上で今後の励みとなりました。語る会の内容は、Youtube 限定配信によって全校職員で共有しています。

【授業を語る会の感想】



授業の悩みを話すことができよかったです。教材作りのことばかり考えていましたが、武富先生のお話を聞いて、授業を考えるための視野が広がりました。

他学部の授業も含め、学習指導要領の内容と関連させながら、全国の実践例にも触れてお話していただき、大変わかりやすく勉強になりました。



令和3年度の研究テーマ

「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」
～学習評価をとおして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

今年度は全ての児童生徒が授業をとおして「幸せに生きる力」を身につけることを目的に全校で学習指導要領を理解し、授業改善に取り組みます。

4月14日の第1回全校研修会は今年度のテーマ、授業改善のポイント、授業改善の方法について全職員で共有しました。



今年度は外部専門家の協力の下、全校で学習指導要領の「学び」と「実践」をリンクさせた取組を年間とおして実施します。

5月10日第2回全校研修会は講師の神戸親和女子大学准教授武富博文先生にオンラインで御講演をしていただき、「学習評価の工夫について」とてもわかりやすくお話いただきました。



【第2回全校研修会の感想】



新学習指導要領の改訂ポイントについて学ぶ機会と」なった。

「資質・能力の3つの柱」でのアセスメント、目標設定、評価とその基準等授業指導案作成において大切にしたい。



「資質・能力の三位一体感」「指導と評価の一体化」などキーワードがたくさんあり、非常に勉強になりました。